

# 思わず目移りしてしまう 石狩市民図書館の活動



## 図書館でのボランティア活動

石狩市民図書館は、石狩市の教育活動の一つとして取り入れられており、市民とより密接な関係を築いています。

その中の一つが、多数のボランティアの存在です。おはなしボランティア「びつくりばこ」、ボランティアサークル「布の絵本にじ」、ブックスタートボランティアなどがあります。特に布絵本を製作する「布の絵本にじ」の作品は、全国のコンクールで一位に輝いた作品もあるほど、クオリティが高いです。

他にも十以上の団体と連携していて、多数の市民が図書館を拠点とした活動に参加していることがうかがえます。

私はブックスタートボランティアに参加し様々な絵本を親子の皆様さんに紹介してみたいな、と思いました。新型コロナウイルスの影響で活動自体はなくなりましたが、徐々に再開しつつあるそうなので、何かの機会に、皆さんもチェックしてみてください。



↑おはなし会の日程

→布絵本を置いてある棚



## たくさんの方の掲示物

石狩市民図書館では、多くの掲示物がいたるところに貼りだされています。

例えば、売店付近に「市民と市をつなぐ掲示板 あいボード」という掲示板が設置されていましたし、児童書のコーナーにあるカウンターでは母親向けの資料やイベント案内が置いてありました。

私は広報物を作製することがあるので、いろいろなデザインのチラシを見るのができて参考になりました。特に、児童コーナーの掲示板に貼られていたチラシは、子供から大人まで幅広い世代に向けたデザインとなっていて、真似したいなと思いました！

## まとめ

石狩市民図書館は、良い意味でごちゃごちゃした、居心地の良い場所だなと思いました。その雰囲気を作り出している要因の一つとして、地域の住民たちが積極的に図書館と連携していることがあったと感じました。

なぜならば、あらゆるところに展示や広告があるからです。その数々は、市民の参加した企画の展示やボランティア活動の参加者を募集するチラシとなっていて、それぞれが見ていて思わず目移りしてしまうほどの魅力が放っています。それはまさに一つの町としてのコミュニティだと思っています。



↑児童コーナー掲示板の写真



左 : あいボード  
 右上: 雑誌棚上に設置されているフリーペーパー  
 右下: 観光に関するフリーペーパー